

Ⅱ 事業の概要

法人

(理事会機能の充実)

近年、少子化や経済情勢等の影響を受け、私立学校を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。共愛学園ではこのような状況下にあつて、様々な課題に対して主体的、機動的に対応していくため次の事業を行いました。

1 ガバナンスについて

本学園のガバナンスの在り方を探求するための一環として、役員、評議員及び事務局員を対象に次の研修会を実施しました。

- 2014年7月11日(金)に研修会を開催し、大学の教育概要(大森副学長)、大学の就職状況(今泉入試就職課課長)、学童クラブの保育概要(坂庭所長)についてそれぞれ説明を受け、その後質疑応答が行われました。
- 2015年2月10日(火)に元広島女学院学長で学園学事顧問の長尾ひろみ先生を講師として招き、第6・7期中央教育審議会委員としての立場やご経験から、「中央教育審議会の動向と今後の私学経営」をテーマにご講演いただき、その後質疑応答が行われました。

2 実効性のある中期経営計画の策定

学童クラブから大学まで6部門の財務を中心とした、5ヶ年(2015～2019年度)中期経営計画書を作成し、2014年11月28日開催の本理事会及び2015年1月30日開催の評議員会へ諮り、審議・承認されました。なお、財務計画の他、教育・保育計画を含んだ総合計画へと内容を改めると同時に、一部内容についてはPDCAサイクルに基づく検証を行い、理事会及び評議員会へ報告しました。

3 部門ごとの経営会議(委員会)の充実

「中学・高校財政問題検討委員会」、「幼稚園企画運営委員会」、「保育園企画運営委員会」、「学童クラブ企画運営委員会」をそれぞれ月1回開催し機能させています。いずれの委員会も理事長が議長となり、それぞれの部門の役職者と本部事務局職員が委員となって諸課題に対応し、生徒・園児の確保、財政の安定及び施設設備の充実などに一定の成果を上げています。なお、大学の場合には、理事長は事務局長や各課長とともに教授会、企画運営会議、6者連絡会などへ参加しています。

(学園10年史編纂委員会の開催)

共愛学園小史編纂委員会規程が2013年7月19日開催の理事会において審議のうえ制定されたものの、これに係る会議は開催されませんでした。

(小学校設置について)

2013年の3月に小学校設置準備室が設けられ準備作業は着実に進捗しています。この準備作業前半の最大の課題であった用地は、2014年4月5日付で登記手続を終了させ10,131㎡(3,071坪)を取得することができました。

校地の造成工事については、2014年7月25日の本理事会で見積依頼先の5業者を選定し、同年9月12日の常任理事会で小林工業(株)を選定いたしました。

校舎の建築設計については、指名型のプロポーザル方式で決定された勝山工務所の提案図により、2014年9月26日の本理事会で実施設計が承認され、同年10月17日の本理事会で見積依頼先の5業者を選定、2015年1月30日の本理事会で佐田建設(株)を決定しJV候補として池下工業(株)を選定しました。(結果的に、佐田建設(株)と池下工業(株)のJVとなりました。)その後、2015年5月8日に建築確認済証を受領、建設工事に着手し、2016年2月完成の予定です。

県の許認可については、2014年9月の事業計画を滞りなく提出し、同年12月の群馬県私学審議会において承認され、2015年7月に本申請を行う予定で順調に進捗しています。また、実務者による準備室会議、学園各部門の代表者による準備委員会の他、教育内容を検討する教育内容作業部会を組織し、懸案事項等について審議を重ねています。

(学園創立130周年記念事業と募金活動)

学園創立130周年記念事業の4事業の内、学園10年史及び小学校設置については、上記の通りですが、中学・高校の第二体育館(武道館)の建設については2015年度中に着工の予定、大学礼拝堂棟については、2017年度に着工の予定となっております。

募金については、「130周年記念事業募金委員会」を2015年1月までに計6回委員会を開催し、事業及び各外郭団体等からの募金の進捗状況の確認等を行いました。募金額については、2013年度中に329件の25,628千円(達成率12.8%)、2014年度中に270件の45,036千円、2014年度末で合計599件の70,664千円(達成率35.3%)の実績を上げることができました。

各団体等の分担目標額・実績(2015年3月31日現在)は次のとおりです。

(単位:千円)

	団体区分		目標額	実績額
1	学園同窓会	中高同窓会	30,000	23,669
2	中高ベタニア会	保護者会	40,000	2,393
3	賛助会		20,000	17,065
4	大学グレープバイン	大学同窓会	30,000	3,451
5	大学シオン会	大学保護者会	30,000	5,805
6	幼稚園オリブの会	幼稚園保護者会	2,000	1,376
7	保育園ナザレ会	保育園保護者会	2,000	384
8	一般(教会、保育園保護者、 学童クラブ保護者、一般)		3,000	3,397
9	現役員・教職員		10,000	6,444
10	旧役員・教職員		5,000	2,680
11	学園バザーより		15,000	4,000

12	小学校保護者会		15,000	0
	計		200,000	70,664

(小学校設置経費と財源捻出計画)

建築資材の高騰や職人不足によって建築費が暴騰しており、当初計画の予算9億円での建築は不可能となり、結果的には、下記の小学校設置経費とこの財源捻出計画とし、この増額分の財源については、中学・高校と大学の繰越金一部を充てることにしました。

共愛学園小学校設置経費 概算表

収入の部

(単位：千円)

区 分	額	記 事
寄附金	100,000	一般募金
賛助会より	240,000	基金取り崩し
外郭団体より	150,000	
中学負担	140,000	経常費より支出 20,000千円×7年(2012年～2018年)
高校負担	266,000	経常費より支出 38,000千円×7年(2012年～2018年)
大学負担	266,000	経常費より支出 38,000千円×7年(2012年～2018年)
繰越金充当	719,624	中学・高校と大学の繰越金一部を充当
計	1,881,624	

支出の部

(単位：千円)

区 分	額	記 事
土地取得費	201,500	取得済み(3,071坪×67千円)
造成工事	44,604	契約済み(工事終了)
上水道布設工事	5,800	契約済み(工事終了)
校等建設舎費	1,519,560	契約済み(1,821坪×834.465千円)
設計管理費	29,160	契約済み
備品取得費	53,000	
その他	28,000	建築工事VEによる削減額(防球ネット、オルガン等)
計	1,881,624	

共愛学園小学校設置経費 財源捻出計画

(単位：千円)

年度 区分	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	計
				建設	開学		130周年	
寄附金	1,000	25,630	42,000	20,000	11,370			100,000
賛助会より				170,000	25,000	25,000	20,000	230,000

外郭団体より		25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000	150,000
中学負担	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	140,000
高校負担	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	266,000
大学負担	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	38,000	266,000
学園繰越金			300,000	419,624				719,624
計	97,000	146,630	463,000	730,624	157,370	146,000	141,000	1,881,624

注 1. 2014年度までは、ほぼこの表のとおりに推移している。

2. 財源の捻出計画は表のとおりとし、2014・2015年度に各部門の繰越金等を一時立替で建設する。

大 学

(入学の状況)

特待生制度や奨学金の充実、広報活動、募集活動の積極的な展開などにより、定員以上の学生を確保することができました。

2014年度 コース別入学概況（入学定員 225 名、編入学定員 5 名）

	国際社会専攻				地域児童 教育専攻	計
	英 語	国 際	情報経営	人間文化		
応募者	149 (1) 名	119 名	90 (3) 名	94 (3) 名	90(0) 名	542(7) 名
合格者	105 (1)	80	64 (1)	62 (2)	58(0)	369(4)
入学者	57 (1)	51	49 (1)	47 (2)	30(0)	234(4)

() 内数値は編入学の内数

(専任教員人事)

2013 年度末に講師 1 名（情報・経営関連科目）が退任し、2014 年度より准教授 1 名（英語）、講師 1 名（情報・経営関連科目）、客員教授 1 名（教職関連科目）を新規採用しました。この結果、専任教員は 2 名増の 33 名体制となりました。

(専任職員人事)

専任職員、嘱託・パート職員の就退任はなく前年度に同じ 21 名体制となりました。

(奨学金制度の見直し)

資格特待生を含む新しい奨学金制度へ 2012 年度から移行しました。その新制度の基本的な概要は、資格特待生の適用を 1 年次のみ限定し、資格特待の学年進行継続廃止に伴って生じる原資を基に、新たに「ともさくら奨学金」、「ワークスタディ奨学金」、「コース奨学金」などの奨学金制度を設けたことです。

移行して 3 年目の 2014 年度については、1・2・3 年生は新制度の資格特待制度が適用され、4 年生には旧制度が適用されました。資格特待生への奨学金の支給額は確実に縮小傾向にありますが、その他の奨学金への充実を推進しています。

年度別の資格特待生と奨学金（参考） (単位：千円)

年 度	資格特待生	他の奨学金	計	記 事
2011 年度決算	173,250	17,040	190,290	
2012 年度決算	160,850	25,810	186,660	新制度へ移行
2013 年度決算	146,940	30,920	177,870	
2014 年度決算	97,440	48,080	145,520	
2015 年度予算	94,309	44,837	139,146	

なお、資格特待の学年進行に伴って生じる原資を基に、新設された奨学金制度は次のとおりです。

- a. 共愛学園ともさくら奨学金：経済的困難な学生を支援
- b. 学業奨励奨学金：各コースの成績最上位者に対する奨学金（原則 20 名）

- c. コース学業奨学金：各コースの成績優秀者に対する奨学金
- d. ワークスタディ奨学金：2年生以上が対象で学内勤労に対する奨学金
- e. インターンシップ奨学金：学内で専門的業務に従事することで得られる奨学金
- f. プロジェクト支援奨学金：優秀なプロジェクトに対する奨学金
- g. その他これまでの奨学金の継続と内容の一部変更

(グローバル人材育成推進事業（以下「GGJ」）の推進)

2014年度はGGJ3年目となり、前年度より開設した Global Career Training 副専攻、各種海外研修プログラムを充実させ、滞りなく運営することに主眼を置きました。新規の海外研修プログラムとしては、これまで設定されていなかった英語コース以外の学生向け中期語学研修（ミズーリ州立大学）、協定に基づくブルガリア交換短期研修、海外体験のエントリーモデルとなるアジア異文化研修（タイ、台湾）を実施しました。このように海外研修プログラムを充実させたことにより、本年度はのべ156人（前年度122人）が参加し、学生のGlobal力を高めることができたと思われまます。

また、GGJ中間評価ではS評価（5段階中最高評価）を獲得、これはGGJ採択42大学の12%にあたる5大学のみが獲得しているもので、本学の取組が高く評価されました。

(地（知）の拠点整備事業の推進)

2014年9月、本学は文部科学省が推進する「地（知）の拠点整備事業（以下「COC」）」に採択されました。このCOCは全国で82大学等が採択されているものです（2014年度26校、2013年度56校）。

本事業の目的は、地域（産業）人材の育成、地域ブランド向上であり、本学としては地域志向カリキュラム等を導入することにより、地域が求める人材を育成していく計画です。2014年度は次年度から稼働する各種プログラム等の開発、準備期間となりました。

なお、本事業は前橋市、伊勢崎市、群馬県と協働で進めていくものであり、特に前橋市とは双方に地域コーディネーターを配置することで、より密な関係で事業を進めていくこととなります。

(大学教育再生加速プログラムの推進)

2014年8月、本学は文部科学省が推進する「大学教育再生加速プログラム（以下「AP」）」に採択されました。このAPは全国で250件の応募の内、46大学等が採択されているものです。

本学は、テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）・Ⅱ（学修成果の可視化）複合型での採択となり、学修の質保証のための基盤整備とそれを活用した学修質保証システムを構築することにあります。2014年度は、図書館コンテンツ管理専門員の採用・図書館員等の研修の実施、図書館学術情報システムとポートフォリオシステムの導入、ICT学習室にアクティブ・ラーニング仕様の仕器を設置、授業アンケート・学修行動調査・卒業生調査の項目の検討・実施、他大学の視察等を行いました。

(地域貢献)

2008年度に設立された地域共生研究センターを核として、地域との共生（連携）を推進するため幅広い活動を行っています。

2014 年度中の同センターの活動実績は次のとおりです。

【主催・共催事業】

- ・「きょうあい子育てひろば」を企画立案し、3 シリーズの他、託児養成講座を実施。
- ・「しぶかわ子育てひろば」(渋川市保健福祉部こども課共催) ファースト・サード 各 1 回
- ・ 群馬現代史研究会
- ・ 生涯学習講座
 - 「前橋の近代」(前橋市中央公民館共催)
 - 「パソコンはじめて講座」(前橋市永明、城南公民館共催)
- ・ 放課後寺子屋 (NPO 教育支援協会共催)
- ・ テラコッタ教室 講師 本多 正直 (本学教授)
- ・ 「共生の教育」公開授業
- ・ 「ジェンダー論」公開授業
- ・ 教科書にのっていない世界の授業 (神田外語大学共催)

【地域連携事業】

○ 委員等派遣

群馬県立大学公立大学法人化検討委員会委員、群馬県男女共同参画推進委員会委員など多数自治体等の委員として教職員を派遣しました。

○ 講師等派遣

群馬県子育て支援ネットワーク事業、男女共同参画基本計画策定研究会などに多数教職員を派遣しました。

○ 共同研究等

本学共同研究費により「群馬現代史研究会」を年 2 回開催している。

○ 共催事業

自治体、公民館、社会教育施設、町内会、地域団体等々との共催事業を展開し、地域との連携を深めている。

【ボランティア派遣事業】

前橋市内小中学校、伊勢崎市内小中学校、群馬県青少年会館などへ学生ボランティア等を派遣しています。

(クラブ部室棟の建替え)

短大開学まもなく(1990 年 4 月)竣工のクラブ部室棟が簡易なプレハブ造りの為、経年劣化が進み学生活動に支障が生じていました。そこで 2014 年 4 月に基本設計、同年 6 月に実施設計を策定し、同年 9 月 12 日の本理事会で施工業者として立見建設工業(株)を選定いたしました。

改築にあたっては、学生の意見を吸い上げるため、設計士・教職員・栄友会役員を構成員とする検討会を立ち上げ、部室数・施設設備等を決定いたしました。2014 年 10 月から建築を開始し、2015 年 2 月に完成し、同年 3 月 16 日に献堂式を行いました。

(施設設備の整備)

① トイレの整備

3号館1階の男女トイレの改修を行う予定でしたが、部室棟の建築費用がかさんだため、この分を充当するため実施しませんでした。

② 雨漏り防水工事

2号館（1994年4月竣工）ならびに3号館（1999年2月竣工）の屋上防水について、部分的な改修工事のみで全体のメンテナンスを実施していませんでしたが、防水シートが劣化し雨漏りが発生したため早急に対応する必要があり、夏期休業中に防水工事を実施いたしました。

③ 公用車の買い替え

主に高校訪問・企業訪問で使用している公用車2台が取得後10年経過し、老朽化が著しくなっており、低燃費で取り回しが良く長距離や高速道路の走行でも支障のないアクアとインプレッサを、購入いたしました。

(借用地の一部取得)

前橋市からの借用地（グラウンド）一部1,500㎡（455坪）を3,195万円で取得しました。これにより前橋市からの借用地は残り1,269㎡（385坪）となり、現在の鑑定価格で試算すると約2,703万円となります。

(進路の状況)

・2014年度卒業生の進路状況は次のとおりです。

就職者	188名
就職未定者	4
その他	32
進学者	4
計	228名

就職率 97.9% (188/192)

・就職者の業種別進路と主な企業名 (名)

業種	人数	業種	人数
サービス業	82	自営業	1
官公庁	9	商社	2
教職員	21	情報通信業	10
金融業	8	製造業	16
建設業	6	流通・小売業	33
計		188名	

高 校

(人事について)

退職、休職等

- ・ 2013 年度末外国人教師 1 名、専任講師各 1 名退職
- ・ 2014 年度中専任講師 2 名の産休、育休取得

採用、復職、異動等

- ・ 副校長職設置 (1 名)
- ・ 教諭 1 名の中学教頭への就任
- ・ 非常勤講師 2 名の専任講師への任用替
- ・ 高校教諭 2 名の中学への異動、中学教諭 2 名の高校への異動
- ・ 外国人教師 1 名の採用
- ・ 専任講師 1 名の採用
- ・ 専任講師 2 名の年度途中の育休からの復職
- ・ 非常勤講師 5 名の採用

・ 教 員

年度	専任教諭	専任講師	左の計	非常勤講師
2010	46	12	59	24
2011	46	15	61	24
2012	45	15	60	20
2013	44	15	59	22
2014	45	17	62	25

・ 職 員

年度	専任職員	パート職員	学寮職員	計
2010	6	1	4	11
2011	6	1	4	11
2012	7	0	4	11
2013	7	0	3	10
2014	7	0	3	10

(生徒確保と入学の状況)

昨年度に比べ応募者が約 60 名程減少したこともあり、定員の 360 名を確保することができませんでした。

入学概況（入学定員 360 名）

	普通科		英語科		計
	特進コース	進学コース	特進コース	進学コース	
定員	230 名		130 名		360 名
応募者	1063 (46)		318 (37)		1381 (83)
合格者	295 (4)	657 (42)	150 (18)	146 (19)	1248 (83)
入学者	31 (4)	219 (42)	36 (18)	68 (19)	354 (83)

※ カッコ内は共愛中学出身者の内数。

（特別奨学生制度の充実）

すべての入試に特別奨学生制度が適用されることを周知し、学業優秀者・スポーツ等優秀者の両面から意欲のある生徒を確保し、より活力のある学校づくりを目指しました。

特別奨学生は定期的（学年末）に学業成績や部活動の様子など継続審査が行われ、年度の途中や年度末に資格を失う場合もあります。

過去5年間の特別奨学生の入学実績は下記のとおりである。

	特別奨学生 S		特別奨学生 A		特別奨学生 B		特別奨学生 C		特別奨学生 D		計
	学業	スポーツ等	学業	スポーツ等	学業	スポーツ等	学業	スポーツ等	学業	スポーツ等	
2010 年度	0	—	5	12	3	—	5	18	0	—	43
2011 年度	0	—	6	12	4	—	7	13	0	—	42
2012 年度	0	—	8	4	4	—	9	7	4	—	36
2013 年度	0	—	6	9	2	—	7	8	0	—	32
2014 年度	2	—	4	12	1	—	8	10	2	—	39

（進路の状況）

昨年度と比較すると4年生大学への進学者が3ポイント減少した分、短大、専門学校への進学者が若干増加しました。

今後も、国公立大学や難関私立大学への合格者数を増やすこと（出口）が、中高生徒の確保（入口）に繋がるために、より一層学習指導や進学指導に力を入れていきます。

（名）

区分	人数	区分	人数
大学	195 (59%)	留学予定	7
短大	36 (11%)	就職	9
専門学校	80 (24%)	浪人・その他	6
計		333 名	

（施設・設備の充実）

- ① 中学・高校東南隣接地の民有地（595 m²）及び建物（107.81 m²）を1,679 万円で購入、部活動や学園各部門が多目的に活用できる施設に資するために、内部改修を行いました。（220 万円）

② 副校長職設置に伴う応接室の増築

副校長職を設置したことにより、既設の応接室を内部改修しこれに充てたため、建物の一部空間を利用して新たに応接室（2室）を増築しました。（660万円）

③ 中学校職員室PC入れ替え

本体のOSがXPであることによる更新で、職員用と教務システム用合わせて20台を入れ替えました。（227万円）

④ 中学校ネットワーク機器更新

サポート終了した機器の入替えと、職員室周辺で使用できる無線LAN設備を新たに設置。合わせて資機材の更新も実施しネットワーク環境の向上を図りました。（190万円）

⑤ 全国大会出場掲出大型看板

部活動の功績を外部に示すため校舎の南面に設置していた懸垂幕を取り止め、広報効果が期待できる藤岡大胡線脇の飛び地駐車場西面に全国大会、関東大会出場掲出大型看板（幅4m80cm、高さ2m70cm）を設置しました。（50万円）

⑥ 屋外設備時計

生徒から校舎北側、駐輪場付近への設置を望む声が多かった「ソーラー式屋外電波設備時計」を体育館北側に設置しました。（48万円）

中 学

(人事について)

退職、異動等

- ・2014年度中学教頭から高校教頭へ異動

採用、異動等

- ・2014年度高校教諭1名の中学教頭への異動
- ・2014年度中学教諭2名の高校への異動

年度	専任教諭	専任講師	助教諭	左の計	非常勤講師
2010	7	6	1	14	6
2011	7	6	1	14	8
2012	7	6	1	14	11
2013	9	4	1	14	9
2014	9	4	1	14	7

(入学の状況)

昨年度と比較すると約20名程の出願者が減少したが、ほぼ定員並みの101名の生徒が確保できました。

入学概況（入学定員100名）

	第1回入試		第2回	第3回	計
	推薦	一般	一般	一般	
応募者	54	61	21	5	141
合格者	54	39	8	5	106
入学者	54	34	8	5	101

(進路の状況)

卒業生数95名中、共愛学園高校へ内部進学した生徒は87名、他校へ進学した生徒は7名でした。

年 度	卒業生数	内部進 学者数	外部進学者数						計
			県内 国公立	県内 私立	県外 公立	県外 私立	海外 留学	その他	
2010	90	79	5	0	0	5	0	1	11
2011	83	69	8	2	0	3	1	0	14
2012	87	77	6	0	1	1	2	0	10
2013	105	87	10	4	0	2	2	0	18
2014	94	87	3	3	0	0	0	1	7

幼稚園

(教員数)

教諭 1 名と常勤講師 1 名の計 2 名が本人の希望で非常勤講師へ任用替え、常勤講師 2 名を新採用し、非常勤講師 2 名が退職したため、2013 年度と同様に常勤の教員は 6 名体制（園長含む）、非常勤の教員は 4 名体制となりました。

(園児募集)

園児募集を強化するためホームページを中心に広報関係の強化を図りました。

年度当初の入園児及び園児数は次のとおりです。

	入園児	在園児
3 歳児	23 名	23 名
4 歳児	3	26
5 歳児	0	25
	26	74

※満 3 歳児を除く

(課外活動)

昨年度に引き続き課外活動を実施しました。申込者等の概要は次のとおりです。

	空手道 教室	絵画造形 クラブ	サッカー・ 体操教室	児童英語 クラブ	くるみクラブ
申込者数	17 名	18 名	78 名	15 名	606 名（延べ人数）
講 師	本大学職員 ・職員	本大学教員	本大学学生	本大学教員 ・学生	石田・高田・菊池
開催日数	8 日	4 日	30 日	8 日	40 日

※空手道教室は 2014 年度より開始

(施設・設備の充実)

プール周り及び外回廊スノコの一部を、腐食することのない樹脂性スノコに入れ替えました。

木瀬保育園

(職員数)

年度	園長	保育士	栄養士	調理員	看護師	事務員	計
2012	1	21	1	2	3	1	29
2013	1	24	1	3	3	1	33
2014	1	25	1	3	2	1	33

※ 保育士1名増員、看護師1名減員

(園児数)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
定員	15	18	22	25	25	25	130
実員	7	22	24	25	27	28	133

(保育内容)

キリスト教主義保育を本格的に取り組める環境が整い、子どもたちと共に原則週1回の礼拝を守るようになりました。

(施設設備の整備)

東フェンスの取替え工事・物置新設工事及び0歳児窓飛散防止フィルム施工工事を行いました。

学童クラブ

(児童の確保)

2014 年度は開所して 4 年目にあたります。人材や施設など総合学園として共愛学園の特色を活かした保育活動を展開し、地域社会から評価が得られ、児童は順調に確保されています。

	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度
児童数	17 名	25 名	33 名	37 名	39 名

(施設整備)

2013 年度から、大学の西南隣接地に民家（土地 155 坪、家屋 50 坪）を取得し移転しましたが、建物の老朽化に伴い改修工事（洗面器配水管工事・職員室床張替工事等）を行いました。